

狭心症治療をめぐる2つの問題

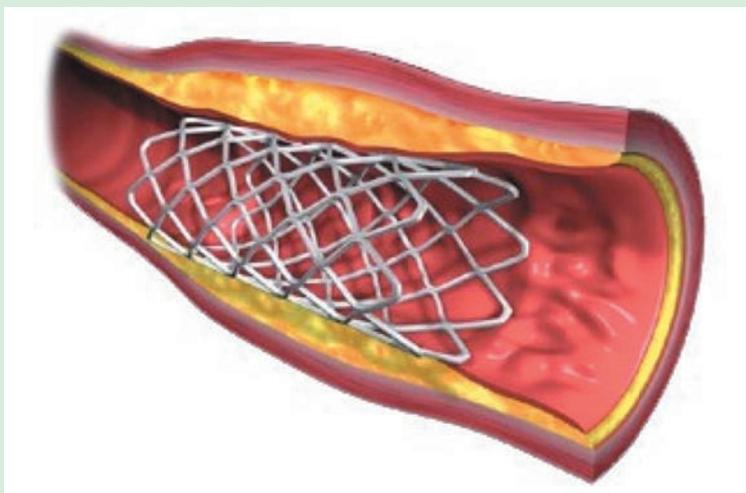
循環器内科 清川 裕明



冠動脈狭窄病変に対するインターベンション治療は、最大の問題点であった再狭窄も薬剤溶出ステントの出現でほぼ克服されました。残された2つの問題として、抗血小板薬の継続期間と脂質管理が挙げられます。ステント血栓予防のため2剤抗血小板薬（アスピリンとチエノピリジン系薬剤）の継続期間は、最低1年間とされてきました。ステントの改良に伴い血栓・再狭窄の改善がみられ、欧州心臓病学会のガイドラインでは出血リスクに応じて1ヶ月から6ヶ月間に短縮可能となりました。さらに心房細動合併例では抗凝固薬（DOAC）の併用も必要ですが、3剤併用の出血

合併の多さから、その期間も1～6ヶ月間でも可能とされ、今後本邦でもガイドラインの変更が期待されます。

もう一つの問題点は長期再狭窄予防のための厳重な脂質管理です。従来冠動脈疾患合併のLDL-Cは100mg/dl以下が目標でしたが、lower is better、70mg/dl未満が推奨されています。それに伴いスタチンや小腸コレステロールトランスポーター阻害薬などの他に、PCSK9阻害薬（注射）の使用もされてきています。ますます増える循環器領域の薬剤の種類と使用方法や期間など情報収集が欠かせない昨今です。



地域連携医療機関対象 エコーハンズオンセミナーを開催して

臨床検査科 此川 静香

2017年より開始した地域連携医療機関の医師を対象としたエコーハンズオンセミナーの企画は、早くも3年目に突入しました。このセミナーは、エコー検査の普及による地域医療の質の向上を目的としており、「気軽にエコー検査を学べる場」をコンセプトに当院の超音波検査士を取得した若手技師が中心となり企画、運営を行っています。エコーは診療において欠かせないツールであり、エコー検査に関する知識と走査技術を身に付けることで、容易にかつリアルタイムに体内の情報を知ることができます。近年、超音波診断装置の画質（空間分解能）がかなり向上し、小型の装置でも明瞭な画像の描出が可能となりました。しかしながら、富山県は他県と比較してエコー検査の講習会やハンズオンセミナーの開催が少なく、エコー検査を学びたくても、機会に恵まれない状況にあります。そういった状況

を少しでも打破できるよう、毎回様々な内容の企画を提供しています。最近では医師だけにとどまらず、地域連携医療機関の技師の参加も増加しており、エコーに関する情報交換を行なえ、我々も共に勉強させていただける活気に溢れたセミナーとなってきました。

このエコーハンズオンセミナーでは、毎回参加者にアンケートを記入していただき、先生方の要望に添えるようなテーマを取り上げています。今年3月に開催した第5回エコーハンズオンセミナーでは、最近メディアで取り上げられている「頸動脈硬化」について、評価法の一つである「頸動脈エコー」をテーマとし、10名の参加者に講習を行いました。

今後もこのセミナーを継続し、微力ではありますが、地域医療に貢献していきたいと思っております。

★★★第5回エコーハンズオンセミナーの風景です★★★





研修・講演・勉強会のご案内

4月分

1. 地域連携症例検討会

日時：4月9日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討 2例

- (1) 術後9年目に肝転移再発を来したStage II S状結腸癌の一例 消化器内科 上山本伸治
- (2) 膝関節部の第3度熱傷に対するburied chip skin graftingの治療経験 形成外科 宮下 松樹、山田 綾花
金沢医科大学 形成外科 井川 祐一

2) ミニレクチャー：「嚥下障害の診断と治療」

耳鼻いんこう科・頭頸部外科 辻 亮

超高齢社会が到来した現在、咀嚼や嚥下に障害を持つ高齢者は増加の一途である。2011年以降、死因順位において肺炎は脳血管障害に変わり第3位となり、高齢者の肺炎の多くが市中肺炎ではなく誤嚥性肺炎であると考えられている。

嚥下は、認知期、捕食・咀嚼期、口腔期、咽頭期、食道期に分けて考えられ、中でも口腔期と咽頭期の過程が重要であり、嚥下障害の病態診断と治療に果たす耳鼻咽喉科医の役割は大きい。嚥下障害の簡易検査には、反復唾液飲み

検査、水飲みテストなどがあり、検査のゴールドスタンダードは嚥下内視鏡検査（Videoendoscopic evaluation of swallowing, VE）と嚥下造影検査（Videofluoroscopic evaluation of swallowing, VF）である。これらの検査を組み合わせ、嚥下機構のどの部分がどのように障害されているのかを診断する。

嚥下障害の治療は保存的治療と外科的治療に大別される。外科的治療は保存的治療（嚥下指導・嚥下訓練）が奏功しない場合に考慮する。

予告 日時：2019年5月14日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂
 内容：①症例検討 2例 （担当）呼吸器・血管外科、産婦人科
 ②ミニレクチャー （担当）放射線診断科

2. 内科CPC

4月の開催は、ありません

3. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

※事前の予約申込が必要です。

- テーマ：災害発生直後における対応
～いざという時の自院の機能を知って動く
視聴期間：4月9日～4月26日



- テーマ：チームで取り組む医療安全対策シリーズ
～マニュアルの落とし穴
視聴期間：4月23日～5月17日
《衛星研修S-QUE 新特別企画》※事前の予約申込が必要です。
- テーマ：第36回「病院看護職のための診療報酬UP 講座
～地域と病院の連携強化策～」
視聴期間：4月8日～5月30日

※衛星研修S-QUEの視聴可能日は、月・木（祝祭日を除く）の14時～16時です。
※希望日の2週間前までにふれあい地域医療センターへ電話でご連絡ください。折り返し、申込み用紙をFAXいたします。また、同施設で複数人数となる場合は、なるべく日時を合わせて申し込みください。
※予約の当日は、2階 看護科事務室へお越しください。

《新任看護職員研修》※事前の予約申込みが必要です。

ふれあい地域医療センターへご連絡ください。（TEL 076-422-1112 代表 内線 2989） 場所：3階講堂（No.7は西病棟8階）

No	内容	開催日	時間	研修形式
1	安全確保の技術（医療安全）	4月2日（火）	9：45～12：00	講義・演習
2	感染防止の技術	4月2日（火）	13：00～16：20	講義・演習
3	与薬、静脈内注射 点滴静脈注射	4月3日（水）	9：00～12：00	講義・演習
4	与薬援助技術 経口薬の投与 麻薬製剤について 皮下注射 中心静脈内注射 輸血 誤薬防止の手順等	4月3日（水）	13：30～17：00	講義・演習
5	活動・休息援助技術	4月5日（金）	13：30～15：00	講義・演習
6	食事援助技術	4月8日（月）	13：30～15：00	講義・演習
7	呼吸・循環を整える技術	4月9日（火）	13：30～15：00	講義・演習
8	排泄援助技術	4月11日（木）	13：30～15：00	講義・演習
9	輸液ポンプの準備と管理（ME）	4月15日（月）	13：30～16：30	講義・演習
10	呼吸管理研修（基礎編）	6月6日（木）	13：30～17：00	講義・演習
11	救急蘇生法	6月11日（火）	13：30～17：00	講義・演習

募集は1研修につき5名程度とさせていただきます。また、同一施設からの申し込みは、1名とさせていただきますようお願いいたします。

駐車場は外来患者さんが利用されますので研修にお越しの際は公共交通機関をご利用ください。
※今後の研修会・学習会の開催予定については、次月号からの「れんけいと支援」または、当院のホームページを通じてご案内いたします。

研修医の ひとりごと



臨床研修医 **高木 康司**

研修医の高木康司です。富山市民病院では初期研修医2年次より11ヶ月間研修させていただきました。当院で学生時代に充実した実習をさせていただいたことや、尊敬する先生から勧められたこともあって研修先を選びました。あっという間の11ヶ月間でしたが、多くの方々に教えられ、助けられ、非常に密度の濃い研修を行うことが出来ました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

私は将来病理医として働きたいと思っており、病理検査部を主な研修先とさせていただきました。振り返ってみると、成長できたなと思うことにはあるのですが、能力的、技術的、精神的に不足しているものが圧倒的に多く、正直なところ専攻医としてやっていけるの

か甚だ不安であります。ただ、今後一人前の病理医となるには(なれるのか疑問ですが)、相当の努力を要するということを認識出来たことは一つの収穫です。また、指導医の先生から病理医としての心構えやあるべき姿について直接お教えいただけたことは、自分にとって大変な宝物です。今後、様々な困難に直面すると思いますが、市民病院での研修を糧に何とか頑張っていこうと思います。市民病院の皆様、本当に有難うございました。



医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

4月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	清川	26日	麻酔科	高木	9日
	大田	15、16日	精神科	伊東	8日
	野村	12日			
	水野	12日			

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

2019年度 地域連携の会 講演会・懇親会のご案内

下記の予定で地域連携の会 講演会・懇親会を開催いたします。地域の先生方と当院の医師との意見交換を身近に行える一年に一度の機会として、職員一同楽しみにしております。登録医の先生方には別途ご案内いたしますが、是非お越しいただきますようよろしくお願い申し上げます。

日時：2019年6月19日(水) 19:00～
場所：ANAクラウンプラザホテル
内容：①講演会
②懇親会



編集後記

3月より当院の電子カルテが更新となり、新しい画面表示や検索方法に戸惑いながらも、いろいろ周りに聞いて教えてもらいながら記録をしています。新しいことを覚えることは、つい大変なことと捉え、負担に思ってしまうがちですが、電子カルテがより便利に使いやすくなり、それが仕事の効率化、ケアの質の向上、患者・家族の満足度アップにつながるものと考えています。良い意味で早く新しい電子カルテに慣れていきたいです。

ふれあい地域医療センター 八木 智矢



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp